

## 校長だより(令和4年1月)

群馬県立藤岡特別支援学校長 須川 史子

明けましておめでとうございます。昨年中は感染症対策をはじめとして様々な面でお世話になり、ありがとうございました。年明けからコロナの感染状況は各地域で悪化してきており、第6波の様相が顕著になりつつあるようです。本校では、今後も予防に努めつつ教育活動を進めていきたいと思っております。



さて、今年は十二支でいうと「寅年」、十干では「壬」となり干支は「壬寅(みずのえとら)」となります。「寅」はもともと「演」が由来といわれ「人の前に立つ」、演と同じ読み「延(えん)」から「延ばす・成長する」という意味を持っています。この2つの組み合わせである壬寅には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起のよさがあるといわれます。コロナ禍にあっても子どもたちが忍耐強く目の前の学習や活動にしっかり取り組み、生活自立と社会参加に向けて一歩ずつ着実に成長する年と解釈したいと思っております。今年もよろしくお願いたします。

1月末には体育館が完成します。体育や雨の日の運動のみならず、式典においても使用が可能となります。今後もさらなる施設設備の充実に努めて参ります。ご協力をお願いします。

### ◇選挙出前授業・模擬選挙

12月10日(金)、高等部生徒全員と保護者を対象に選挙出前授業及び模擬選挙を行いました。当日は藤岡市選挙管理委員会の講師の方より、選挙について生徒会選挙等になぞらえながらわかりやすく講義をいただき、実際に候補者を選び投票を行う模擬選挙が行われました。実際の選挙に使用される記入台や投票箱を使いながら、生徒たちは本番さながらの投票を体験しました。本人が自分で投票できない場合の代理投票の体験もしました。3年生には既に18歳になった者もいて、昨秋の衆議院選挙で投票所に向いた経験のある生徒もいました。選挙権はすべての国民が持つ平等な権利であり、これを行行使することは国民としての義務でもあります。それぞれの意見が政治(学校生活)に反映され、よりよい社会(学校)がつけられるために必要な知識とスキルを学ぶことができたように思います。

### ◇高等部生徒会役員決定

一週前の選挙出前授業・模擬選挙を受け、12月17日(金)、次期生徒会役員を決める立ち会い演説会及び選挙が行われました。今年は1・2年生から8名が立候補しました。立ち会い演説会では推薦人より応援演説、立候補者より良い学校作りへの決意表明が行われ、それぞれの熱い思いが伝えられました。激しい選挙戦の結果、5名の役員が選出されました。当選された生徒たちには有権者(生徒)の期待に応えるべく藤特のリーダーとしての活躍に大いに期待しています。

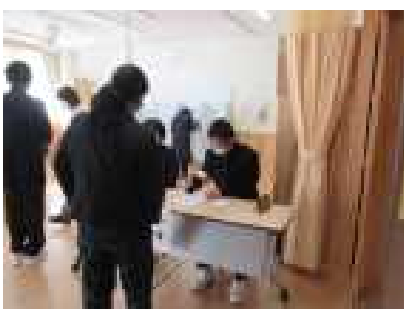
### ◇クリスマス行事

12月17日(金)、小学部でクリスマス集会在開催されました。今年は感染症対策を講じながら多目的ルームに集まり、美しいイルミネーションが輝く中、一緒に踊ったり合奏をしたりして楽しみました。みんなノリノリでとてもうれしそうでした。最後に井草教頭扮するサンタさんから一人ひとりにプレゼントが手渡され、記念写真を撮影しました。飛び跳ねながらうれしさを体いっぱい表現する子、思わず抱きつく子、照れくさい表情を浮かべる子、反応は様々でしたがとても楽しいひとときを過ごしました。

### ◇「群馬県特別支援教育研究会知的障害部会西毛ブロック研修会」

冬期休業の初日である12月23日(木)、職員対象の研修としてanomira代表の北爪浩美先生にご来校いただき、「身体運動感覚と記憶～乳児期からの発達と学習面への影響に視点を置いて～」と題し、ご講演をいただきました。先生からは、胎児期にまで遡って感覚や認知発達等について具体的に説明をいただき、運動遊びを言葉で理解させることの大切さ、投薬は脳の神経をうまく開通させるため必要なものであること、自己肯定感を高めるためには他者との比較をすることが大切であること等、関わり方のポイントを伺いました。また、先生のご専門である発達障害のところでは、知的障害を持つ子どもたちの指導にも相通する部分があり応用できること等、今後の指導に生かせるたくさんの気づきを得ることができました。

生徒会役員選挙投票の様子



井草教頭サンタと手をつないで



素敵なイルミネーション

